

## 会 議 録

1. 附属機関等の会議の名称

令和2年度第1回文化財保護審議委員会

2. 開催期間

令和3年3月23日(火) 15時30分から16時30分まで

3. 開催場所

えみりあ 第1学習室

4. 出席者氏名

文化財審議委員

清水稔子 小椋吉範 宮下稔 山本晃永 寺澤貢 長谷部正美  
亀山勝保 坂本正夫

事務局

高坂教育長 塩倉生涯学習課長 松下主事 伊坪主事

傍聴人の数

なし

5. 会議資料の名称

・令和2年度 第1回松川町文化財保護審議委員会資料

6. 審議の概要

教育長あいさつ

審議委員長、副委員長選任

委員長 亀山氏

副委員長 清水氏

審議委員長あいさつ

## 協議

- (1)大島城説明看板について
- (2)部奈みそべた層の指定文化財の申請について

## 報告事項

- (1)令和2年度埋蔵文化財発掘調査
  - ①建造物建築に伴う確認調査について  
西原遺跡（下垣外）城遺跡（城 瑞応寺）弥久司遺跡（弥久司）名子氏館跡（名子）
  - ②古町道路造成工事に伴う発掘調査について
  - ③宮ヶ瀬橋架け替えに伴う竹越・馬坂遺跡発掘
- (2)馬坂一ノ芻の移設について
- (3)文化財の修繕について
  - ①船山城 ②円満坊
- (4)アカモズについて
- (5)その他
  - ・ツツザキヤマジノギクの現状について
  - ・倉田家の文書について

## （協議）

### 1.大島城説明看板について

事務局より旧看板の撤去、新規看板設置について説明

看板の再設置については文章を簡略化し、写真や位置図なども再度検討する必要がある。設置場所も含め古町を愛する会と詳細について協議していく。来年度設置看板案ができれば審議委員会にて再度確認をする。

### 2.部奈みそべた層の指定文化財の指定について

坂本正夫氏より部奈みそべた層について説明

委員 A：みそべた流泥に埋もれた樹木はどのような種類だったのか。

坂本氏：断定はできないが、今部奈に生育している樹木とほぼ同じ種類ではないかと思われる。

委員 B：以前土木の仕事をしていた時、古町でもそれらしき地層があった。

委員 C：流泥に樹木が飲み込まれ跡が残ったものは化石に分類されるのか、またその地層は見学は可能なのか。

坂本氏：樹木の跡についても化石に分類される。見学については現地はかなり険しい崖であり、難しいと思われる。

委員 D：他に例はあるのか

坂本氏：みそべた層において樹木の跡が残っているのは現状ではここだけである。

教育長：指定文化財について検討するには現場確認は必要だろう。

坂本氏：見ることができる場所については何カ所かある。指定文化財にするにあたってほどの範囲まで指定するかなども検討する必要がある。

事務局：みそべた層については坂本氏に調査協力をお願いし、まずは現地確認を行う。他の市町村の地質の文化財の指定状況や活用なども情報収集したうえで再度審議委員会でお示しできるようにしたい。

## 報告事項

### (1)令和2年度埋蔵文化財発掘調査

#### ①建造物建築に伴う確認調査について

西原遺跡（下垣外）城遺跡（城 瑞応寺）弥久司遺跡（弥久司）名子氏館跡（名子）

#### ②古町道路造成工事に伴う発掘調査について

#### ③宮ヶ瀬橋架け替えに伴う竹越・馬坂遺跡発掘

#### (2)馬坂一ノ刎の移設について

#### (3)文化財の修繕について

①船山城 ②円満坊

事務局より報告

#### (4)アカモズについて

宮下氏より情報共有、今後も保護措置のありかたについて情報共有しながら指定文化財の指定について協議を進める。

## その他

### ・ツツザキヤマジノギクの現状について

生涯学習課課長より説明

昨年の豪雨の影響により低地にあったツツザキヤマジノギクが埋もれてしまった。今年度はコロナの影響もあり例年のような観察会も実施できなかったが、新たに区画を作りそこに種をまいた。今後は新たに作った4カ所の区画を中心に保護していく予定。

委員 C：小高いところに移動はできないのか

生涯学習課課長：流されてしまった場所より小高く、上流の場所に区画は設定した。

### ・倉田家の文書について

委員 C：以前調査を依頼した倉田家の文書について、進捗はどうか

事務局：主な文書については調査を終了したが、活用については文書の保管者の意向をうかがいながら進める必要がある。

委員 C：調査と活用を進めてほしい。